



- ◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。
- ◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。
- ◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

# 一般質問

3月定例会では16名の議員が一般質問を行いました。  
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。  
ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



3月定例会において延べ48名の方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

## 市長選5選出馬への意思について

白河の発展に尽くす所存。再度、7月の選挙で市民の審判を仰ぐ。



北野 唯道 議員



**Q** 市長就任4期にわたる成果・実績と、それらを踏まえての次期市長選5選出馬への意思について。

**A** 時代の転換期だからこそ、困難と同時に希望の光も。まさにその光を目指して、これまで培ってきた経験や人脈を生かし、自らも



**Q** 電気料金  
の値上げに伴う影響額は。

**A** 当初予算額で公共施設に係る合計額を比較すると令和4年度は5億7040万5千円であったが、5年度では9億1845万8千円となり、額にして3億4805万3千円の増、61%の増。

**Q** 久保本沼線の新設道路の進捗状況と今後の進め方について伺う。

**A** 久保集落から阿武隈川に架かる通称「だるま橋」までの区間は、幅員が狭く通行の支障となっているため、国の社会資本整備総合交付金を活用し、工区を分け来年度から測量設計に着手する予定。

## 複合施設整備事業の目的と概要について

中央公民館機能を含む生きがづくり子育て支援など



大花 務 議員



とを目的としている。

**Q** 各階に入る予定の市の機関は。

**A** 複合施設に移転する市の組織・機能としては「こども未来室」「こども支援課・こども育成課」及び「中央保健センター（健康増進課）」「中央公民館」を中心とする生涯学習関連機能の移転を想定している。

**Q** 市役所南側に整備する立体駐車場は。

**A** 2層3階建てで駐車台数190台確保する計画である。

**Q** しらかわ駅伝競走大会終了の意見が最初にでたのは市役所職員の方からか、大会を実際に運営する県南陸上競技協会の方からの意見か。

**A** 事務局の方からである。



外観イメージ

# 誰一人とりのこさない！

## 災害時要支援者個別避難計画について



根本 建一 議員



況及び、今後どのように進めていくのか  
伺う。

**Q** 要支援者が多いことに加え、一人ひとりに地域で支援者を確保するのは理解と協力が必要であり、作成には多くの時間を要することから本市においては、一部作成に留まっている。要支援者の家族及び町内会や民生児童委員等連携し優先度の高い方から個別計画の作成に鋭意取り組んでいく。

**Q** 「農業政策について」

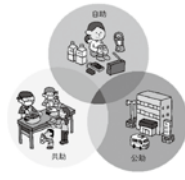
肥料高騰対策について、肥料をはじめ生産資材の高騰が続くなか生産費軽減を図るため、土壌分析、耕畜連携、下水汚泥の利用について市としてどのように取り組んでいくのか伺う。

**A** 土壌分析による化学肥料の低減に対する取組への各種支援制度周知及び耕畜連携の一層の推進や下水汚泥の活用の可能性について各団体と連携していく。



**Q** 「防災政策について」

高齢者、障がい者等災害時要配慮者のうち自ら避難することが困難であり、特に支援を要する災害時要支援者の個別避難計画の策定状況について伺う。



# 公共交通の充実を望む市民の声に応えてほしい

## 新たな計画の策定では地域の実情に適したあり方を検討する



佐川 京子 議員



の担い手の育成に繋がる内容となるよう調査・研究を行いたいと考えている。

**Q** 奨学金支給制度について育英基金をどのように活用していくのか。

**A** 「奨学資金及び入学一時金の貸与」とし、無利子貸与型の奨学資金貸付事業に重点化し、奨学金の一部返還免除制度も積極的にPRする。

**Q** 公共交通の実証実験を五箇地区でも実施してほしい。

**A** 現計画は、令和5年度で終わる。新たな計画の策定では、交通弱者の移動手段の確保や市民の暮らしを支える観点等から、アンケート調査を行い的確にニーズを把握し、地域の実情に適した公共交通を検討する。



# 口腔機能の維持は、生活習慣病・認知症・病気等の予防につながる

## 健康寿命の延伸に繋がるよう、節目の年齢対象に歯周病検診を実施する



水野谷 正則 議員



た。引き続き健全財政に努めていく。

**Q** 歯科検診について、歯の健康と健康寿命との関係及び市の取組みを伺う。

**A** 口腔機能を維持することは、生活習慣病や認知症など様々な病気予防につながる。令和5年度より、新たに成人の40、50、60、70歳の節目の年齢の方を対象に歯周病検診を実施するとともに、定期的な歯科検診の必要性を啓発していく。

**Q** サラダボウルについて、株みちのく白河農園野菜生産施設の現状と今後の見通しを伺う。

**A** 令和5年度内の完成を予定している。稼働にあたっては、パート従業員等約120人の雇用が計画されている。





# 集団特定検診で血糖値の要指導になった人数は

約 400 人の方が要指導に該当している



室井 伸一 議員



**Q** 血糖チェックで健康づくりについて

**A** 福島県市町村先駆的健康づくり実施支援事業の中の日本生命保険相互会社が提案する血糖変動をセルフモニタリングする「じぶん血糖チェック」を活用するもので、対象者は65歳未満のスマートフォン等を利用できる方



出典:アボットジャパン合同会社ホームページ

**Q** 保育園で使用したオムツを処理することについて

**A** 使用済みオムツを持ち帰ることは、衛生面やオムツに名前を明記し持参しなくてはならず、保護者に負担を生じさせている。また、保育園においても、使用済みオムツを園児ごとに仕分けし、持ち帰りの袋に入れるなどの作業が生じている。このため昨年6月より「使用済みオムツの園内処理」について検討を重ね、令和5年度の当初予算に園内でのオムツ処理に必要な経費を計上した。

# 均衡ある本市進展について

検討委員会を立ち上げ現在協議している



戸倉 宏一 議員



**Q** 均衡ある本市進展について。老朽化が進む公共施設の取り組みについて伺う。

**A** 東・大信両地区の建物及び各設備が老朽化している。こうした状況を踏まえ公共施設個別施設計画の第一次計画期間中に検討することとしている。



**Q** 太陽光パネルの処分について。太陽光発電施設が急速に広まり、地元住民から心配する声を聞く。廃パネルについてどのような制度があるのか伺う。

**A** 国の固定価格買取制度の認定を受けた10kw以上の電気を供給する事業者を対象に固定価格買取制度20年間のうち、施設規模に応じた解体などに係る廃棄費用を10年間積み立てることが定められている。市では設置面積が3000㎡を超える事業者に対して「太陽光発電施設の設置等に関する指導要綱」により、設置事業者が事業を廃止した場合には、当該施設の適正な設備の撤去とともに環境保全の確保などについて定めているところである。

# 市長の目指す将来像

健康で幸せを感じるまち



石名 国光 議員



**Q** 国際社会秩序の急激な変化や少子化など様々な課題が山積するなか、鈴木市長が目指す将来像について伺う。

**A** 様々な課題の施策をバランス良く組み合わせながら、経済・子育て・医療・教育・文化など、多様な生き方ができる包摂性・寛容性を備えた、それぞれが生きやすい社会にしたいと考えている。

**Q** 白河く大信線、新白河く石川線の増便で利便性の向上を図るため、増便することについて伺う。また、市民のニーズに合った新たな輸送方式の検討について伺う。

**A** 増便については、関係団体との同意が必要ためニーズや費用対効果、その必要性について検討する必要がある。また、高齢化が進み公共交通がますます重要になると考えられ、予約型乗合タクシーとの一層の連携など、交通弱者に配慮した公共交通の運営に努めてまいります。



# 南湖公園の松の伐採本数は

伐採本数 1,109本 (過去15年間)



柴原 隆夫 議員



**Q** 南湖公園に隣接する東側の農地は国道294号線の開通により土地の価値は格段に高まり、南湖の景観保全と調和する土地利用の研究が必要かと考える。

**A** この農地は農業振興地域で農業以外の利用には制限があるが、園芸農業など多様な農業形態の検討は必要かと考える。



まばらになった南湖の松の木

**Q** 南湖の魅力は松と桜でもある。松の過去15年間の伐採本数は。また松の適切な植栽計画と桜の老木化対策が必要では。

**A** 伐採本数は1,109本で、松の植栽は江戸時代の絵図等を調査し、桜の老木化対応と共に検討する。

**Q** 横町交差点の右折信号機と栄町交差点の感知式信号機の設置について

**A** 県と市、さらに白河警察署と連携を図り、県公安委員会へ働きかけていく。

**Q** 熊谷市が行っている「学力日本一」を目指す熊谷教育を参考に、白河市独自の教育プランづくりで「学力ベスト10」を目指す白河教育はどうか。

**A** 全国学力・学習状況調査で全国比を上回る目標を掲げている。

# 市内循環バス「こみねっと」の利用促進について

バイパスを通る新たなルートが加わり、全体の便数も増加



鈴木 裕哉 議員



**Q** 現在、運行している市内循環バスについて、国道294号白河バイパスが全線開通したことに伴い、このバイパスを有効に活用して利用促進を図っていく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

**A** 平成19年10月から運行開始した市内循環バス「こみねっと」は、市民の生活の足として定着し、必要な公共交通機関として機能している。こうした中、国道294号白河バイパスの活用や、真舟方面の交通不便地区の解消を図るため、令和3年度に新たなルートでの実証実験を実施した。

その結果、コロナ禍による外出控えの状況にあったものの、一定の需要が確認でき、既存のルートに加え、今年4月からバイパスや真舟地区を経由する新たな「西循環ルート」での運行を開始する予定である。

これにより、バイパス沿線の東大沼、栄町、葉ノ木平、薄葉や真舟地区で循環バスが利用できるようになり、全体の便数も増えることから、利便性がさらに高まるものと考えている。



# 国道294号白河バイパス沿線のまちづくり

地域住民と一緒に検討



菅原 修一 議員



**Q** 国道294号白河バイパスは、中心市街地を通るメインストリートとなるので、地元住民と協力した魅力あるまちづくりが必要ではないか。

**A** 横町、田町地区において、沿線住民による景観まちづくり協定を締結し、市

と地域住民が連携し、良好な街並み景観の形成に努めてきた。今後も地域住民の方々と一緒になって検討してまいる。

**Q** 南湖交差点から栃木県境までの整備計画について

**A** 今回開通した国道294号白河バイパスと国道289号との交差点から、白坂一里段交差点までの区間は、都市計画決定されているが事業化には至っていない。

**Q** 国道289号の4車線化の見通しについて

**A** 老久保交差点から県道南湖公園線交差点までの区間については、4車線化に向けた測量や設計を実施しているところ。

**Q** 飼料用米の種子確保について

**A** 本県の生育環境に適した「ふくひびき」等の品種で取り組む方針です。





# 保育士配置基準について市の今後の対応は

各種事業を積極的に活用し、保育士の負担軽減に働きかける。



吉見 優一郎 議員



た、質の向上のため  
の委員研修や活動  
支援の補助金の  
交付も引き続き行  
う。



形が見えてきていますと考  
も地域の農業を支えてこ  
継続的な支援に加え、新  
戦する人々に寄り添い、  
支援することで、本市の  
産業全体、ひいては市全  
がるものと考えている。

**Q 本市の民生児童委員の現状と、今後の担い手確保について**

**A** 現在、民生児童委員は1名の欠員、主任児童委員は定数を充たしている。今後の対応として、活動しやすい環境づくりや市民に活動を正しく理解してもらうために、活動内容や重要性等の情報を広く発信するとともに、各町内会長や地域の方々と連携・協力し、人材の確保に努めていく。また、質の向上のための委員研修や活動支援の補助金の交付も引き続き行う。

**Q** 今後の白河市の産業（農業）をどのように推進していくのか市長に伺う。

**A** 国内資源の活用や、環境に配慮した農業のように、国産化や持続性を重視した取り組みが推進される等、大きな転換期を迎えている。だからこそ、新たな農業の形が見えてきていますと考

# コミュニケーションの低下をどの様に補っていくのか

デジタル社会と適合したコミュニケーションの場を模索していく



高畠 裕 議員



報するなど具体的  
な対応方法を  
示している。ま  
た研修などを受  
講して理解を深  
め、運営に支障  
が出ないよう取  
り組んでいる。



や行事を復活させ、デジタル社会と適合したコミュニケーションの場を模索していく。

**Q 白河市の施策選定は検証や証拠を基に反映すべきでは。**

**A** 前年度の目標達成状況から事業評価を行い、次年度の必要性や有効性を議論している。

今後、市民アンケート調査から得た市民の幸福度を指標として、分野ごとに市民のニーズを把握し施策に反映していく。

**Q 市役所来庁者と市役所内部のハラスメント対策はどのようになっているのか**

**A** 大声をあげる、長時間居座る相手には退庁を促し、応じない場合は警察に通報するなど具体的な対応方法を示している。また研修などを受講して理解を深め、運営に支障が出ないよう取り組んでいる。

**Q** 地域コミュニティの低下による希薄となったコミュニケーションをどの様な方法で深めていくのか。

**A** 若者が溶け込みやすいコミュニティ作りを支援し、人が集まることで共感や喜び、学びを得られ、かつて行われていた地区のお祭り

# 白河市の子育て支援、特徴は

妊娠・出産から子育てまで、切れ目のない支援をワンストップで！



大竹 功一 議員



を貸し付けるなど  
の「ひとり親キャ  
リアアップ応援貸  
付事業」など「白  
河っ子応援大作  
戦」を実施してい  
る。



また、経済的支援の拡充や保育サービスの充実など総合的視点から0歳から3歳児まで毎年3万円のクーポン券を支給する「白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業」、ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、ひとり親家庭の親が、看護師や介護福祉士等の資格を取得するため、養成機関で修業する場合に、生活費として月5万円を貸し付けるなどの「ひとり親キャリアアップ応援貸付事業」など「白河っ子応援大作戦」を実施している。

また、経済的支援の拡充や保育サービスの充実など総合的視点から0歳から3歳児まで毎年3万円のクーポン券を支給する「白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業」、ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、ひとり親家庭の親が、看護師や介護福祉士等の資格を取得するため、養成機関で修業する場合に、生活費として月5万円を貸し付けるなど

**Q** 現在、少子化問題解決が国を挙げての最優先課題となっている。多くの市町村で特色ある取り組みが行われているが、白河市の特徴はなにか。

**A** 本市の特徴として、まず「こども未来室」を設置し、妊産婦の相談や乳幼児の発達支援などの母子保健業務と虐待防止や育児が困難な家庭への支援など児童福祉業務を国に先駆けて一体化するとともに保育園・幼稚園に関する業務を集約することにより、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援をワンストップで行っている。

# 白河市の医療の現状と課題、対策について

開業助成制度や救急医療機関への支援、医師・看護師の確保を図る



須藤 博之 議員



- Q 医療の充実について**  
**A** 県や医師会等と連携を密にし、市民が安心して子育てや、老後の生活が営めるよう安定的な医療体制の確保に全力をあげてまいります。
- Q 子どもを望んでいる方への相談体制について伺う。**  
**A** こども支援課に「子育て世代包括支援センター」を設置し、相談支援を行う。妊娠前から気軽に相談できるよう周知に努めてまいります。
- Q 児童クラブの待機解消と支援の質の向上について伺う。**  
**A** 民間児童クラブの利用を支援するなど解消に努めてまいります。大幅に予算を増額し、児童の体験活動や本の購入、支援員の研修について充実を図ってまいります。
- Q 歩いて暮らせるまちづくりの方向性について**  
**A** 市民が良さを享受し楽しさを広め居住人口を増やし街のにぎわいを作っていく。



## 憲法26条(義務教育無償)は学校給食費にも及ぶとの国会答弁(1951年)

学校給食法で保護者負担になっているが、設置者(首長)の判断で負担軽減・無償化は可能



深谷 弘 議員



- Q 給食費負担軽減・無償化**  
**Q** 学校給食費無償化が広がっている。無償化の根拠として憲法26条(義務教育無償)がある。1951年、岩間参院議員(日本共産党)の「義務教育の無償をどの程度まで果たすべきと考えているか」の質問に「現在は授業料だが、教科書、学用品、学校給食費、交通費などを考えている」との答弁があり、その後教科書は無償になった。無償化の根拠としての憲法26条についてどう考えているか。  
**A** 1964年教科書費国庫負担請求事件の最高裁判決で「教科書の無償化は、国の財政等の事情を考慮して立法政策の問題として解決すべきもの」としており、立法措置で無償となった。給食費は学校給食法で保護者負担になっているが、設置者(首長)の判断で負担軽減が可能になっている。
- Q 負担軽減・無償化は市町村にばらつきがある。その理由はどこにあるか。**  
**A** 本市では経済的負担軽減、子育て支援のため独自の施策を行っている。他市町村でも地域の実状を踏まえ、議論していると思う。



### 人事案件

議会に同意を得るために提出する議案が人事案件。3月定例会で同意された方を紹介します。

○人権擁護委員法に基づき、法務大臣に推薦することに同意  
 曾田智子氏(東上野出島)

※任期3年

14名が人権擁護委員に委嘱されており、憲法で保障されている基本的人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。

### ●黙とうを捧げました

- ・ふるさと白河をこよなく愛した名誉市民  
 故今井珠泉氏 (1/15没)
- ・3.11東日本大震災から間もなく12年
- ・ロシアによるウクライナ侵攻から1年が経過
- ・3.24発生トルコ・シリア大地震

3月定例会の開会日(2月28日)に、犠牲となり亡くなられた多くの方々に対し、哀悼の意を表し黙とうを捧げました。

### ●トルコ・シリア地震救援金

赤十字社が実施する救援活動を支援するため「2023年トルコ・シリア地震救援金」10万円を全議員24名から募り、2月24日に贈りました。

